

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 元気キッズ朝霞教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 20名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室の温かい雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れ時に、職員全員でお子様へ声かけや挨拶、視診を行っている。お子様のその日の様子を常に声を掛け合って情報共有をしている。 活動の中で、できた時には全体で喜び、頑張っている時には「がんばれ」と応援し、職員の声かけを真似てお子様も同じように声をかける環境がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝や帰りの保護者の方とお話する時間にて、日々の些細なエピソードの共有、子育てでの困り感などのヒヤリング、必要に応じて個別面談を実施していく。
2	お子様に合った支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会や制作活動時には、年齢や発達段階に配慮しながらグループを分け活動に取り組んでいる。 教室ミーティングにて個別支援計画の目標や現在取り組んでいる課題について職員全体で共有し、お子様の今の姿や目指したい姿を確認し支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室ミーティングにて研修を実施し、職員一人ひとりの保育・療育の質を深めていき、日々の保育に活かしていく。
3	職員間の情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 月2回の教室ミーティング実施。毎日の朝礼/終礼時に、お子様の情報、保護者の方からお話があったこと、ヒヤリハット等の共有を行っている。その日いない職員にも共有できるよう日誌に記録を残し、次の日に確認できるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担を行いながら教室備品管理や環境の整備等、支援に必要なものや修繕が必要な箇所をミーティング内で定期的に見直し、話し合いながら、お子様が過ごしやすい教室運営を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園との交流	<ul style="list-style-type: none"> 年に3回実施する保育園との合同避難訓練、ハロウィンイベントでの近隣お散歩などが主な交流する場となっている。イベントに関しては1日のみであるため、他の曜日のお子様は参加できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣接している保育園と交流会のような機会を設けられるように実施を計画していく。
2	家族支援プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> 保育参観にてお子様の様子を見ていただく機会や一緒に公園で遊ぶ機会を設けているが、職員を交えて保護者同士で話す場や親子で参加するプログラムが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育参観の内容を工夫し、親子で参加できるプログラムを考えると同時に、保護者同士で話す機会も作っていきけるよう検討していきたい。 ペアレントトレーニング等の情報は玄関掲示、連絡網にて情報を開示していきたい。
3	定期的な活動内容の発信	<ul style="list-style-type: none"> 日々のフィードバック時に日中の活動写真の掲示、インスタグラムにて活動の発信を行っているが、頻度が少ない現状がある。また、インスタグラムの周知不足が考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の保育内容がイメージしやすいようにフィードバック時に写真を掲示していきながら、保護者の方にわかりやすくお子様の様子をお伝えできるように心がけていく。 インスタグラムのアカウントを再度保護者の方へ周知していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援 元気キッズ朝霞教室
------	------------------

公表日 2026年 3月 30日

利用児童数 20名(内兄弟児2家庭)

回収数 18(内兄弟児2家庭)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	0	0		活動に応じて人数をわけながら、お子様たちが安全に安心して取り組めるように配慮していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	3	0	0		教室に1日の予定を写真で示し見てわかる環境にしております。また、お子様たちが自分で自分のものを片付けられるようにマークをつけたり、片付けるカゴにイラストをつけるなど工夫しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0		お子様ひとりひとりの支援に対して職員で話し合いながら取り組んでおります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	1		年間で取り組んできたプログラムを振り返りながら、次年度に向けて新たなプログラムを計画しております。残ったものの、新しく取り入れたいもの等も話し合いながら決めております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	3	4		隣接している保育園と定期的な交流を図れるように取り組んでいきます。
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1	0	0		保護者の方にわかりやすくお伝えできるように心がけていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	2		相談事業所、保護者の方が作成した支援計画書を共有していただいております。面談時には教室で取り組んでいる支援内容等についてご説明させていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	2	1		ご家族様が参加できる研修会等の情報提供を掲示板や連絡網を通じて発信していきます。保育参観の内容を工夫していきながら親子・保護者同士で交流のできる機会が持てるように検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1	0	0		送迎時にお子様の健康状態や発達の状況に対して、教室での様子をお伝えするとともにご家庭の様子もお伺いし共有していることを心がけております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	1		個別支援計画更新の際に面談を設定させていただいております。その他、ご相談等ある時にはいつでもお声掛けいただければと思います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	1	2	保育参観や茶話会等の行事を通して、保護者同士で交流のできる機会が持てるよう検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	0	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	2	1	引き続き、日々のフィードバック時や園だより、インタグラムにて保育内容の共有に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	0	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	0	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0	安全計画のマニュアルは教室内に掲示しております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	0	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0	お子様の「たのしい!」「明日も行きたい」が溢れるような教室運営を心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 元気キッズ朝霞教室		公表日		2026年 3月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		活動に応じて人数をわけながら、お子様たちが安全に安心して取り組めるように配慮していく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別の部屋を臨機応変に使用している	衣食住の環境設定がもう1部屋あるとより行いやすいと思う	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	MTGで話ができている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケート内容を共有している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	新しいプログラムを話し合っており取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		地域の方にもっと朝霞教室を知ってもらえるように、散歩時に積極的に挨拶をしていく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		お子様の健康状態等について把握するとともに必要に応じて保護者の方にお伺いをしMTG時に共有する
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		